新潟市まちなみ整備なじらね協定促進事業助成金交付要綱実施基準

(趣旨)

第1条 この実施基準は、新潟市まちなみ整備なじらね協定促進事業助成金交付要綱（以下「要綱」という。）の実施について必要な事項を定めるものとする。

(助成対象地域)

第2条 要綱第2条に規定する市長が別に定める助成対象地域は、要綱第1条に規定する趣旨に適い、魅力的な景観形成により、新潟の魅力の向上や交流人口の拡大につながる次の各号のいずれかに該当し、市長が認める地域とする。

(1) 地域の歴史、伝統、文化、風情等が感じられるまちなみが残っている地域

(2) 日常的に人通りやにぎわいの見込める地域（駅周辺や商店街等）

(助成の内容)

第3条 要綱第3条に規定する基本計画作成費の助成は、別表第1に定めるところによるものとする。

2 要綱第12条に規定する建築物等整備費の助成は、別表第2に定めるところによるものとし、助成金の交付は、同表に掲げる事業区分毎に、それぞれ1軒につき1回限りとする。

3 助成金の交付の対象となる費用は、市長が特別の理由があると認める場合を除き、交付申請から助成金の支給までの手続きが1年度内に完結できるものに限り、助成金の額は別表第1及び別表第2に基づいて算出された額の合計とする。ただし、これらの表に規定する助成対象費用に、他の法律、条例、要綱その他（以下「他の法律等」という。）により、助成金、補助金等が交付される場合は、その助成対象費用から、他の法律等において助成の対象となる費用を差し引くものとする。

(交付申請の額等)

第4条 要綱第5条及び第14条に規定する交付申請において、交付申請額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた金額とする。

(基本計画作成費助成金の交付申請内容の変更等)

第5条 要綱第7条の規定により基本計画作成費助成金の交付申請内容の変更の承認を受けなければならない場合は、次に掲げる場合とする。

- (1) 助成事業計画を変更する場合
- (2) 助成事業収支予算を変更する場合
- (3) 協定を締結する予定者の住所又は氏名を変更する場合
- (4) その他市長が変更の承認が必要であると認めるもの

(建築物等整備費助成金の交付申請内容の変更等)

第6条 要綱第16条の規定により建築物等整備費助成金の交付申請内容の変更の承認を受けなければならない場合は、次に掲げる場合とする。

- (1) なじらね協定において定めた事項を変更する場合
- (2) 助成事業計画を変更する場合
- (3) 助成事業収支予算を変更する場合
- (4) 土地又は建物所有者を変更する場合(助成金の交付申請者が土地又は建物を借りている場合に限る。)
- (5) その他市長が変更の承認が必要であると認めるもの

(助成対象者等に対する助言)

第7条 市長は、助成対象者等に対して、交付の目的を達成するため、必要な助言をすることができる。

附 則

この基準は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この基準は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この基準は、令和3年4月1日から施行する。

別表第1（第3条関係）

事業区分	助成対象費用	助成要件	助成金の額
1 基本計画作成費	権利者間の意向調整と基本計画図の作成に要する費用	(1) 権利者間で合意した魅力的な景観形成につながる基本計画図をまとめること。 (2) 基本計画図は、魅力的な景観形成に向け、建築物等を整備する際の建築物等の部位等に関する具体的なルールを図化したもので、基本計画図の作成に当っては、新潟市景観アドバイザー会議を活用すること。	要した助成対象費用の1/2又は15万円のいずれか低い方（1地区あたり）

※上記について、助成金の額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた金額とする。

別表第2（第3条関係）

事業区分	助成対象費用	助成要件	助成金の額
1 建築物工事費	<p>(1) 古町花街地区建築物等の屋根、外壁、雁木その他市長が必要と認めるものの改修工事に要する費用（道路から見える部分を対象とする。）</p> <p>(2) その他の地区建築物等（住宅又は店舗併用住宅に限る。）の屋根、外壁、雁木その他市長が必要と認めるものの改修工事に要する費用（道路に面する部分を対象とする。）</p>	<p>(1) 助成対象者の建物の存する地域の特性（歴史、文化、気候、伝統など）に見合うデザインの屋根、外壁、雁木等とすること。</p> <p>(2) 色彩については、あざやかさを抑え（概ねマンセル値による彩度6以下）、周辺景観との統一感、調和の確保を図ること。</p> <p>(3) 複数の色彩を使用する場合は、色の三属性（色合い・明るさ・あざやかさ）の対比が強くないようにすること。</p> <p>(4) 圧迫感や突出感のない色彩・配色とすること。</p> <p>(5) アクセントカラーは小面積として、調和のとれた色彩とすること。</p> <p>(6) 建築物等のデザインや色彩については、景観に配慮することとし、その設定に当っては、新潟市景観アドバイザー会議を活用すること。</p> <p>(7) 古町花街地区については、「古町地区将来ビジョン」（2020年3月新潟市策定）のうち「古町花街エリア」のビジョンの内容に合致すること。</p>	<p>(1) 古町花街地区 ア 歴史的建築物 要した助成対象費用の1/2又は500万円のいずれか低い方（1軒あたり）</p> <p>イ その他の建築物 要した助成対象費用の1/2又は150万円のいずれか低い方（1軒あたり）</p> <p>(2) その他の地区 要した助成対象費用の1/2又は50万円のいずれか低い方（1軒あたり）</p>
2 工作物工事費	<p>(1) 古町花街地区門、塀、かき又は柵の築造又は改造（改造に伴うブロック塀の撤去を含む。）、看板等の整備、その他市長が必要と認めるものの築造、改造に要する費用（道路から見える部分を対象とする。）</p> <p>(2) その他の地区門、塀、かき又は柵の築造又は改造（改造に伴うブロック塀の撤去を含む。）、看板等の整備、その他市長が必要と認めるものの築造、改造に要する費用（道路に面する部分を対象とする。）</p>	<p>(1) 助成対象者の建物の存する地域の特性（歴史、文化、気候、伝統など）に見合うデザインの門、塀、かき、柵とすること。</p> <p>(2) 色彩については、あざやかさを抑え（概ねマンセル値による彩度6以下）周辺景観との統一感、調和の確保を図ること。</p> <p>(3) 複数の色彩を使用する場合は、色の三属性（色合い・明るさ・あざやかさ）の対比が強くないようにすること。</p> <p>(4) 圧迫感や突出感のない色彩・配色とすること。</p> <p>(5) アクセントカラーは小面積として、調和のとれた色彩とすること。</p> <p>(6) 門、塀、かき、柵は道路面からの高さ1m以下で圧迫感のない、見通しの良いもの（道路面からの高さ0.4m以下の部分は除く。）に限る。ただし、地域の魅力的な街並みを形成している門、塀、かき、柵（例：板塀）などの高さについてはこの限りではない。</p> <p>(7) 工作物、外構等のデザインや色彩については、景観に配慮することとし、その設定に当っては、新潟市景観アドバイザー会議を活用すること。</p> <p>(8) 古町花街地区については、「古町地区将来ビジョン」（2020年3月新潟市策定）のうち「古町花街エリア」のビジョンの内容に合致すること。</p>	<p>(1) 古町花街地区 要した助成対象費用の1/2又は50万円のいずれか低い方（1軒あたり）</p> <p>(2) その他の地区 要した助成対象費用の1/2又は25万円のいずれか低い方（1軒あたり）</p>

- ※「道路」とは、原則として、建築基準法第42条に規定する道路（同法第43条第1項ただし書の許可を受けた水路、通路等を含む。）をいう。
- ※「歴史的建築物」とは建築基準法施行以前に現に存する建物をいう。
- ※上記について、助成金の額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた金額とする。